



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月26日

上場会社名 トッパン・フォームズ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7862 URL <http://www.toppan-f.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻井 醜
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務本部長 (氏名) 福島 啓太郎 (TEL) 03(6253)5720
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	62,056	2.0	3,529	△4.8	3,858	2.3	2,286	9.8
25年3月期第1四半期	60,843	13.2	3,708	24.4	3,772	19.9	2,083	23.7

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,688百万円(23.7%) 25年3月期第1四半期 2,172百万円(24.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	20.60	—
25年3月期第1四半期	18.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	200,842	151,590	75.2
25年3月期	200,512	150,264	74.6

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 150,945百万円 25年3月期 149,631百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	12.50	—	12.50	25.00
26年3月期	—				
26年3月期(予想)		12.50	—	12.50	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	121,000	0.5	5,900	△6.6	6,200	△5.3	3,600	△3.9	32.43
通期	246,000	0.9	12,000	1.0	12,400	0.9	7,200	1.3	64.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期1Q	115,000,000株	25年3月期	115,000,000株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	4,003,441株	25年3月期	4,003,441株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期1Q	110,996,559株	25年3月期1Q	110,996,646株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安への移行、株価の上昇など、政府の各種政策効果が発現する中で、着実に持ち直してきましたが、企業の設備投資の回復にはやや時間を要すなど、実体経済においては、いまだに弱い動きもみられました。

ビジネスフォーム業界におきましては、一部の市場で需要の回復は見られるものの、引き続き企業の経費削減の徹底や競争激化による価格低下、IT化・ネットワーク化が進展しており、厳しい経営環境となりました。

このような状況のなか、当社グループは価値創造型企業への変革を基本方針として掲げ、成長戦略の推進と経営基盤の強化に取り組みました。

成長戦略の推進につきましては、子会社化した株式会社ジェイ エスキューブとの連携により、データ・プリント・サービス(DPS)の前後にある事務処理作業を含めたビジネスプロセスアウトソーシング(BPO)の市場開拓を強化いたしました。また、増加するウェブ化・IT化ニーズに対応して、情報通信技術を基盤とした新事業・新サービスの開発を推進するとともに、ウェブ販売チャネルの強化と新商品の拡販による商品事業の再構築に取り組みました。海外市場におきましては、資本業務提携した浙江茉織華印刷有限公司との連携により中国市場開拓の強化を図るとともに、香港市場の深耕、シンガポール・タイを中心としたASEAN市場の開拓に努めました。

経営基盤の強化につきましては、製造拠点の集約などにより製造コスト削減を推進するとともに、物流コストの管理徹底、海外調達(用紙)の実施など、収益力の強化に取り組みました。

以上の結果、前年同四半期に比べ売上高は2.0%増の620億円、営業利益は4.8%減の35億円、経常利益は2.3%増の38億円、四半期純利益は9.8%増の22億円となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

<u>印刷事業</u>	売上高	494億円(対前年同四半期 0.9%増)
	セグメント利益(営業利益)	40億円(対前年同四半期 6.0%減)

ビジネスフォームでは、利用者にとっての分かりやすさ、伝わりやすさを追求するユニバーサルデザインや、帳票を中心とする印刷物の調達業務を一括受託する企画・提案を推進するなど、シェア拡大に努めました。しかしながら、経費削減の徹底や競争の激化による価格低下や電子化に伴う需要量の減少などにより、前年を下回りました。

DPSは、通知物の電子化に伴う需要の減少や仕様の簡素化、競争激化による単価ダウンはあったものの、販売促進用ダイレクトメール(DM)の拡販や、プリント業務一括アウトソーシング需要の取り込み、さらには株式会社ジェイ エスキューブの子会社化を含めたBPO受託の増加などにより、前年を上回りました。

<u>商品事業</u>	売上高	125億円(対前年同四半期 6.6%増)
	セグメント損失(営業損失)(△)	△1億円(対前年同四半期 -)

サプライ品は、当社が保有するウェブ購買システムを活用した一括受注提案を推進するとともに、販売促進用ノベルティーの拡販を図りましたが、オフィス用品の販売価格の下落や、トナー販売の減少などにより、前年を下回りました。

事務機器関連では、企業におけるメーリング業務のアウトソーシング化による需要減はあるものの、小売業や医療機関などへのカード発行システムの拡販や、株式会社ジェイ エスキューブのスキナー・入力機器類の販売などが加わったことにより、前年を上回りました。

区分	前年同四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)		当第1四半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)		増減		前連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	伸率 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
印刷事業	49,052	80.6	49,483	79.7	430	0.9	196,883	80.8
(内DPS)	(24,704)	(40.6)	(26,250)	(42.3)	(1,545)	(6.3)	(98,164)	(40.3)
商品事業	11,790	19.4	12,573	20.3	782	6.6	46,915	19.2
計	60,843	100.0	62,056	100.0	1,213	2.0	243,798	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末に比べ資産合計は3億円増の2,008億円、負債合計は9億円減の492億円、純資産合計は13億円増の1,515億円となりました。この結果、自己資本比率は75.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第1四半期の業績については予想通りに推移しており、平成25年4月26日に公表いたしました通期の連結業績予想の修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	39,819	33,534
受取手形及び売掛金	42,347	43,844
有価証券	3,638	3,943
商品及び製品	8,058	9,031
仕掛品	974	985
原材料及び貯蔵品	2,135	2,325
繰延税金資産	2,322	1,544
その他	3,375	4,371
貸倒引当金	△239	△277
流動資産合計	102,431	99,302
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	58,648	57,377
減価償却累計額及び減損損失累計額	△27,185	△26,566
建物及び構築物(純額)	31,462	30,811
機械装置及び運搬具	71,939	73,349
減価償却累計額及び減損損失累計額	△61,362	△62,762
機械装置及び運搬具(純額)	10,577	10,587
工具、器具及び備品	11,559	12,081
減価償却累計額及び減損損失累計額	△8,942	△9,433
工具、器具及び備品(純額)	2,616	2,648
土地	22,630	22,696
リース資産	316	349
減価償却累計額	△292	△326
リース資産(純額)	24	23
建設仮勘定	3,906	5,264
有形固定資産合計	71,217	72,030
無形固定資産		
のれん	—	480
その他	3,958	4,566
無形固定資産合計	3,958	5,047
投資その他の資産		
投資有価証券	17,125	18,188
繰延税金資産	1,242	1,432
その他	4,960	5,222
貸倒引当金	△423	△381
投資その他の資産合計	22,904	24,461
固定資産合計	98,080	101,539
資産合計	200,512	200,842

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,743	25,223
短期借入金	283	303
未払法人税等	2,005	424
賞与引当金	4,365	2,502
役員賞与引当金	57	13
資産除去債務	208	189
設備関係支払手形	4,786	4,455
その他	9,581	12,355
流動負債合計	47,031	45,467
固定負債		
繰延税金負債	114	124
退職給付引当金	2,505	2,825
役員退職慰労引当金	156	208
資産除去債務	411	450
その他	29	174
固定負債合計	3,217	3,783
負債合計	50,248	49,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,750	11,750
資本剰余金	9,270	9,270
利益剰余金	131,932	132,831
自己株式	△4,916	△4,916
株主資本合計	148,035	148,935
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,970	1,999
為替換算調整勘定	△374	10
その他の包括利益累計額合計	1,596	2,010
新株予約権	13	7
少数株主持分	619	637
純資産合計	150,264	151,590
負債純資産合計	200,512	200,842

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	60,843	62,056
売上原価	47,722	48,745
売上総利益	13,121	13,310
販売費及び一般管理費	9,412	9,780
営業利益	3,708	3,529
営業外収益		
受取利息	25	32
受取配当金	64	132
持分法による投資利益	25	—
為替差益	—	4
補助金収入	5	130
その他	104	99
営業外収益合計	224	399
営業外費用		
支払利息	2	1
持分法による投資損失	—	8
為替差損	17	—
保険解約損	90	29
賃貸費用	13	20
その他	37	11
営業外費用合計	160	71
経常利益	3,772	3,858
特別利益		
固定資産売却益	0	2
持分変動利益	—	108
その他	6	7
特別利益合計	6	118
特別損失		
固定資産売却損	32	—
固定資産除却損	38	408
その他	95	41
特別損失合計	165	449
税金等調整前四半期純利益	3,612	3,527
法人税、住民税及び事業税	482	463
法人税等調整額	1,064	791
法人税等合計	1,546	1,254
少数株主損益調整前四半期純利益	2,066	2,272
少数株主損失(△)	△17	△14
四半期純利益	2,083	2,286

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	2,066	2,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△127	29
為替換算調整勘定	255	311
持分法適用会社に対する持分相当額	△21	74
その他の包括利益合計	106	415
四半期包括利益	2,172	2,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,190	2,701
少数株主に係る四半期包括利益	△18	△13

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷事業	商品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,052	11,790	60,843	—	60,843
セグメント間の内部売上高 又は振替高	180	185	366	△366	—
計	49,233	11,976	61,209	△366	60,843
セグメント利益又は損失(△)	4,316	△111	4,204	△496	3,708

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△496百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△496百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	印刷事業	商品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	49,483	12,573	62,056	—	62,056
セグメント間の内部売上高 又は振替高	174	298	473	△473	—
計	49,657	12,872	62,529	△473	62,056
セグメント利益又は損失(△)	4,057	△132	3,925	△395	3,529

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△395百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△395百万円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。